

兩者生き音が軍に好機來りし時西野俄然第一球目を打てば球は左翼を越えて三壘打となり

松居上池還り一居二飛に倒れしも近藤又中堅頭上を抜く三壘打を奪飛し西野還り那須右飛

第九回(本校)吾が軍最後の攻撃に入りて全力を注いで之に努む、宮崎死球に出で松居右

飛後投手暴投に一擧三壘により上池遊仙一失に生き二盗又暴投で宮崎生還西野遊仙一失に

生き上池還る、この時一居又もや左翼越の大

三壘打を放ち西野還りその差僅か三點となり

時近藤投仙の隙をねらつて一居本壘を襲ひしも及ばず本壘寸前に於て無念憤死し追撃及

ばず十三A對十にて吾が軍涙を吞んで退く。時に五時三十分

本校(先攻)

居藤	須那	堀西	崎吉	居宮	池松	野上
一近	二遊	三遊	左一	三右	捕	
35	10	7	6	9	1	3
6	9	1	3	6	2	8
13	9	8	3	10	1	3
9	4	1	1	3	1	5
1	2	1	1	3	1	5
1	3	1	3	1	1	5
1	3	1	3	1	1	5
5	1	3	1	3	1	5
1	3	1	3	1	1	5
1	3	1	3	1	1	5
1	3	1	3	1	1	5

中	西村	島山	永澤	岐
中川	東岡	川増	福金	隠
遊右	三捕	投左	二中	一
35	10	7	6	9
6	9	1	3	6
13	9	8	3	10
9	4	1	1	3
1	2	1	1	3
1	3	1	3	1
1	3	1	3	1
5	1	3	1	3
1	3	1	3	1
1	3	1	3	1

六月二十二日縣下リーグ優勝戦第二回戦を本校々庭に於て三時三十分釜江(球)高田

縣下リーグ優勝戦之記

第一回(水中)朝比奈遊後川村左側失に一擧二進中西三側失に出で岡の三側川村本壘

を突いて刺されしも續く川島右越二壘打を放ち中西生還増山遊仙失に岡還り福永又遊仙失

遊仙に代る)吉田三振近藤一側那須遊仙に入らず。(水中一、本校〇〇)

第六回(水中)本校この回のみ那須と西堀代る)福永右前安打に出で金澤三振後東左中間

二壘打に福永生還朝比奈遊仙川村投仙に一點を回復す。

(本校)西堀左中間を抜く三壘打を放ち一擧本壘を企てしも成らず本壘寸前にて惜しくも

刺さる、西野二側失に生き松居二側西野三盗せんとして倒る。(水中一、本校〇〇)

第七回(水中)中西左飛失に生き二盗後岡の三遊間安打に還り川島四球増山二側川島二

壘に封殺され福永三振金澤遊仙。(本校)宮崎中前安打に出でしも上池三側川島二

宮崎二壘に封殺一居三遊間安打續く吉田、近藤共に二側退く。(水中一、本校〇〇)

第八回(水中)東二側失に生き朝比奈三振後川村三側川島二側封殺され中西四球に出で

しも岡遊仙に川村三壘にフォーンスアウトさる(本校)那須三振後西堀遊仙失に出で二盗西

に川島還り金澤三振に終りしも三點を奪れ最初より波瀾起る。

(本校)吉田二側失に出で近藤投前バンド一失に吉田既に三壘を得る時那須投仙に吉田生

還西堀四球二盗後西野一側バンド内野安打となり近藤還り松居右前安打に西堀還り宮崎四

球に出でしも上池一居共に三振に終り三點を返し同點となり最初より打撃戦を演ず。(兩軍三)

第二回(水中)東遊仙一失に出で朝比奈三振川村中前安打の後中西遊飛岡三側川村二壘に封殺さる。

(本校)吉田、近藤共に四球に出で那須インフィールド、フライに倒れ西堀三振後西野右中間に快打して吉田還り松居二側失に近藤生還

し宮崎三振に代りしも本校二點をリードして應援團を喜ばす。(水中〇、本校二)

第三回(水中)川島一側増山、福永共に投仙に振はず。(本校)上池四球に出で一居三遊間安打吉田

野一飛失に生きしも松居二側宮崎三振。(兩軍〇〇)

第九回(水中)敵軍最後の攻撃に入りしも川島二飛増山三振の二死後福永四球を選びて出

で續く金澤右前安打に最後の好機來ると思ひしも東捕那飛に退き吾が軍過日の恨をばらひ

凱歌音空高く擧る。時に六時三十分

田藤	須那	堀西	崎吉	居宮	池松	野上
吉近	二遊	三遊	左一	三右	捕	
40	16	14	9	8	2	3
6	9	6	3	4	2	0
14	9	6	3	4	2	0
16	14	9	6	3	4	2
9	6	3	4	2	0	8
6	3	4	2	0	8	7
14	9	6	3	4	2	0
16	14	9	6	3	4	2
9	6	3	4	2	0	8
6	3	4	2	0	8	7

三壘打 近藤(二) 西堀

二壘打 西野、松居、川島、東

試合時間 二時間四十五分

先攻) 村中 島山 永澤 岐

中川 東岡 川増 福金 隠

遊右 三捕 投左 一中 三遊

42 打数 16

6 得点 14

9 安打 9

3 死打 8

2 盗打 2

0 三壘打 3

4 犠打 10

0 犠打 2

8 失策 7

3 0 0 0 1 1 1 0 0 6

3 2 4 7 0 0 0 0 A 16A

水本 中校

3 2 4 7 0 0 0 0

3 2 4 7 0 0 0 0

3 2 4 7 0 0 0 0

3 2 4 7 0 0 0 0

七月に入りて試験が終ると直ちに片原松盛館に合宿し尙且つ慶應大學選手梶上氏をコーチヤーとして迎へ鐵をも溶かさんとする暑さも物ともせず毎日炎天下に於て、打つ！走る！守る！の練習、日没まで瀧の如き汗を流しつゝ練習を重ね又夜に入りてはコーチャー宅に於てルール等を學ぶ。

時はたちて二十四日我等ナインは神に必勝を期して金龜城にも見送られ勇んで綠ヶ丘の地に向ふ。

京津大會之記

青雲のたなびくきばみ東ゆ西ゆ勝ちて驕らず大扉のもし集ひし吾等若き生命を眞理に捧げ正しく強く力に生きん、見よやむらだつ峰雲のかやき時こそ來つれいざ戦はん守れと叫ぶは精神の響き憂つと響くは力の叫び群がるつはもの打ちてしまん、名こそ惜しめますらをわれら。

第一回戦 對長濱商業戦

七月二十五日綠ヶ丘球場に於て三時四十分友宗(球)佐田(壘)二氏審判の下に本校先攻にて開始。

第一回(本校)吉田遊飛宮崎遊飛後那須投捕失に生き二盗續く西堀左翼線上の二壘打を放ち那須生還一居又左前安打に出で二盗なりしも近藤三振に止む、先づ一點を先取す。

(長商)西濱左前安打に出で二盗後池内投側バンド一壘高投に西濱生還し池内二進せしも北川三振小林遊飛若山三振に後援なし。(兩軍一)

第二回(本校)松居三直上池三振後西野四球に出で吉田左前安打宮崎死球に二死満塁となり次打者那須中前安打に西野、吉田生還し西堀の左前安打に宮崎も還り三點を加ふ一居左飛。

(長商)大野左飛、西島遊飛、佐藤三振に空し。(本校三、長商〇)

第三回(本校)近藤、松居共に投捕上池三振に代る。

(長商)丸山遊飛西濱、池内共に三振に無爲(兩軍〇)

第四回(本校)西野左前安打に出でしも吉田中飛宮崎二飛に西野と重殺さる。

(長商)北川左中間二壘打を放ち三盗後小林遊飛に還りしも若山三振大野捕邪飛に續かず(本校〇、長商一)

第五回(本校)那須中前安打に出で西堀中堅越の大三壘打を放ち那須生還一居三振後西堀本盗を企て捕逸に生還近藤三兪松居一兪に終る。

(長商)西島中前安打に出で佐藤投捕に西島二壘に封殺丸山遊飛に佐藤も封殺され西濱左直に空し。(本校二、長商〇)

第六回(本校)上池左飛失に生き西野一邪飛後上池二盗吉田左飛宮崎又死球に出で上池、宮崎との重盗成り那須四球に満塁西堀右中間二壘打に上池、宮崎、那須生還西堀尙三盗せんとして二三壘間に狭殺さる。

(長商)池内、北川共に投捕小林四球に出で

若山左前安打後小林の三盗成らず。(本校三長商〇)

京津大會之記

第七回(本校)一居一兪近藤二兪松居遊飛に凡退す。

(長商)大野投飛西島二兪佐藤二飛に空しく長商軍本校の好守に得點を阻まれ結局九對二の七回コールドゲームとなり本校第一戦に先づ勝つ。時正に五時三十分。

田崎須堀居藤居池野	9	2
吉宮那西一近松上西	0	0
本校(先攻)	3	0
捕一投中二遊三右左	0	0
30	9	4
9	4	4
4	2	1
4	2	1
2	1	5
0	0	0
24	2	4
6	3	4
1	0	2
1	0	3
0	2	1
3	3	0

打點 安打 振打 死打 打壘 打策
 數得 24 6 1 1 0 2 1 3

商 濱内川林山野島藤山 3 0 0 0
 長 西池北小若大西佐丸 1 1 1 1
 遊三中捕投二右一左 本長
 三壘打 西堀
 二壘打 西堀(一) 北川
 試合時間 一時間五十分

嗚呼吾等に最後の時は來た、吾等は決死の意氣を以て敵にあたれども應ぜず神は吾等を惠ます武運拙なく破れ今までの吾等の力闘は綠ヶ丘の砂けぶりさ化し涙と共に退く、嗚呼悲しい哉。

第二回戦 對京都師範戦

七月二十八日十二時五十分宇磨谷(球)友宗(壘)二氏審判の下に本校先攻にて開始。

第一回(本校)吉田三兪失に出で宮崎の二兪に送られ那須の投捕に三進せしも西堀遊飛に最初の好機を逸す。

(京師)江河三邪飛後瀨野四球に出で中川遊飛に二壘に封殺續く太田邦左越二壘打を放ち中川長驅生還甲盛又四球に出で饒根右越二壘打に太田邦還りしも尙三盗を企て、刺さる(本校〇、京師二)

第二回(本校)一居三兪内野安打に出で捕逸に二進近藤三遊間安打に一居生還近藤二盗に

刺されしも松居四球に出で二盗成り上池三兪一失に生き二盗に刺さるゝ隙をれらつて松居還り西野投捕に代りしも同點となり試合は益々白熱す。

(京師)太田正遊飛後三振後栗倉遊飛失に生き江河三遊間安打に出でしも瀨野投直に空し(本校二、京師〇)

第三回(本校)吉田三振宮崎四球に出でしも那須の二兪に封殺され西堀三遊間安打せしも一居中飛。

(京師)中川三遊間安打、太田邦右中間安打に中川一擧三進太田邦二盗後甲盛中機飛に中川還る、饒根根遊飛太田正遊飛失に出で二盗の間に太田邦還りしも後捕邪飛に後援續かず(本校〇、京師二)

第四回(本校)近藤四球に出でしも投手にはかられて死し松居三振上池遊飛。

(京師)栗倉三振江河遊飛後瀨野右中間二壘打に出で中川二遊間安打を放ち尙二盗せんとして刺さる。(兩軍〇)

第五回(本校) 西野中飛後吉田死球に出で宮崎左前安打の後吉田、宮崎との重盗なりしも那須一飛西堀右飛に代る。

(京師) 太田邦中前安打甲盛左前安打に出で藤根三振太田正四球に満塁後三振栗倉も四球で太田邦押出されて還り江河左越二壘打に甲盛、太田正還り瀨野左飛に終りしも京師軍三點を加ふ。(本校〇、京師三)

第六回(本校) 一居三兪近藤捕前兪一失に生き松居打者の際先程から降りしきる雨益々激しくなり審判はタイムを宣告された、待つこと約一時間漸く雨晴れグラウンド整理の後再び試合は續行せらるゝ事となつた雨直後でグラウンドのコンディション非常に悪く難試合に陥る。松居三振に退き上池三邪飛に凡退す

(京師) (本校) 那須左翼へ、西野捕手へ、吉田中堅へ、西堀投手へ(交替す) 中川二兪太田邦飛甲盛四球に出でしも二盗成らずして代る(兩軍〇)

第七回(本校) 西野三兪吉田三兪失に生き宮左中間を抜く本壘打を奪飛し二者生還宮崎那須共に三振せしも本校二點を加ふ。(水中〇本校二)

第三回(水中) 金澤死球に出で福永の投前バンドに送られ朝比奈投後中西遊兪一失に走者一三壘に擧りしも川村投兪。

(本校) 植田三振吉田遊兪一失に生き近藤遊飛後吉田二盗に刺さる。(兩軍〇)

第四回(水中) 東三越テキサスに出で岡遊兪失續く川島中越三壘打に二者を還へし尙本盗せんとして三本間に狹殺さる、増山三兪金澤一兪に終りしも二點を回復す。

(本校) 上池左飛(本校) 西堀、木下に代る(西堀四球後松居三振西野も四球後西堀、西野との重盗なりしも宮崎三振に終り好機を逸す(水中二、本校〇)

第五回(水中) 福永遊飛朝比奈二兪中西三振に植田投手の腕益々冴える。

(本校) 那須、植田三振後吉田右前安打に出でしも近藤捕邪飛に無爲。(兩軍〇)

第六回(水中) 川村三振東遊飛後岡左前安打に出でしも川島二兪。

(本校) 上池遊兪内野安打に出で西堀右前安打後松居三振せしも西野中前二壘打を放ち上池生還宮崎の投兪の際に西堀本盗せんとして本壘す前にて刺さる。(水中〇、本校一)

第七回(水中) 増山遊兪一失に生き金澤の投前バンドに送られ福永二兪に三進せしも朝比奈投兪に空し。

(本校) 那須三振植田投飛吉田投兪。(兩軍〇)

第八回(水中) 中西三振川村投兪後東二飛失に生き岡遊兪内野安打に兩者生き川島右前安打に二死満塁となりしも次打者増山三振に凡退す。

(本校) 近藤遊兪失に生き上池投前バンド一壘高投に一塁走者二三壘により西堀遊飛後松居死球に一死満塁の好機来る續く西野右前安打後逸に三者生還し一塁三壘により宮崎の二兪に西野還り那須一飛に終りしも四點を増し

捕邪飛の後吉田二盗せんとして刺さる。(京師) 藤根左飛太田正三兪一失に生き後の投兪に封殺栗倉三振に退く。(兩軍〇)

三壘打 太田邦
二壘打 太田邦、藤根、瀨野、江河
試合時間 二時間十五分

八日市体育俱樂部主催 縣下野球大會之記

第一回戦 不戦一勝
第二回戦 對水口中學戦
九月十四日八日市中學校觀東ヶ丘球場に於て三時太田(球) 中島(壘) 二氏審判の下に水中先攻にて開始す。

第一回(水中) 中西投兪川村、東共に三振す(本校) 西野中前安打に出で宮崎三兪失に兩者生き那須の投前バンドに送られ植田遊飛後吉田四球に満塁となり近藤死球に西野追し出されて還り先づ一點を擧ぐ上池二兪に代る。(水中〇、本校一)

第二回(水中) 岡三振川島二兪増山遊飛に振はず。(本校) 木下三振後松居四球に出で續く西野

先攻	本校	京師
田宮 須藤 居池 西野	2	8A
捕(中) 崎(左) 投(中) 二遊 三右 左(捕)	0	0
3打數 2	0	0
5得點 5	0	0
13安打 6	0	0
8打三振 5	0	0
3死 4	0	0
4三打 1	0	0
2二打 4	0	0
1壘打 1	0	0
4失策 3	0	0
捕 1	0	0
中 1	0	0
遊 3	0	0
右 0	0	0
左 0	0	0
捕 0	0	0
野 0	0	0
池 0	0	0
居 0	0	0
藤 0	0	0
須 0	0	0
宮 0	0	0
田 0	0	0
京師 2	0	0

大勢決す。(水中〇、本校四)

第九回(水中) 敵最後の攻撃に入りしも金澤投飛福永三振朝比奈投飛に退き八A對二を以て本校勝つ。時に五時三十五分。

校 野崎須田 田藤池(下堀)居
西宮那植吉近上木(西)松

捕一左投中遊右二二三
31得點 8
7安打 10
1打 1
0打 1
4打 2
2壘打 4
0三本盜 0
0盜 2
0失策 5

水(先攻) 西村 島山澤永奈
中川東岡川増金福朝比
二右遊捕投左中三一
本壘打 西野
三壘打 川島
二壘打 西野
試合時間 二時間三十五分

八日市体育俱樂部主催 縣下野球大會之記

準優勝戦 對八幡商業戦

九月十五日空高く晴渡り野球日和なり九時十分同球場に於て熱氣と奮氣と相搏つ準備勝負の白熱戦の幕は中島(球)園司(壘)二氏審判の下に切つておこさる、本校先攻。

第一回(本校)西野先づ遊撃を強襲し之を失せしめて出で宮崎捕那飛後那須四球植田遊匍に那須二壘に封殺されしも續く吉田の右前安打に西野生還し一點を先取す。近藤中飛。

(八商)中村中飛原遊匍一高投に一舉二壘を占め、村上死球後伊東、徳永夫々右前に中前に安打して原、村上還り敵もさるもの二點を返す、若原三飛伊藤投匍。(本校一、八商二)第二回(本校)上池遊匍木下三振松居右匍に空し。

(八商)米澤死球に入でも(此の時本校植田二壘に木下退き西堀左翼に入り那須ブレートに立つ)猪田左飛中村右飛原三匍。(兩軍〇)第三回(本校)西野三振宮崎四球に出でも那須一匍に二壘に封殺され植田二飛。

本壘打 村上
試合時間 一時間五十五分。
岐 滋 大 會 之 記

積貯する産根地下に熱球飛ぶ壯烈戦は九月二十二、三の兩日開始された、兩縣より馳せ参じたる強豪新鋭十二チームは火を吐くやうな熱と意氣にあふれつゝ美技快打續出の壯快な戦を見た。

第一回戦 對大垣中學戦

九月二十二日高商球場に於て十二時二十五分釜江(球)丹羽(壘)二氏審判の下に本校先攻にて開始。
第一回(本校)那須四球を利して出で宮崎の投前バンド送られ次打者西堀左中間を抜く三壘打を獲飛し那須生還植田三匍内野安打に出で二盜後西野投前バンド捕逸に西堀、植田還り西野一舉二壘を得吉田四球に出で西野との重盜成功し近藤投前バンドに西野生還上池中前安打に吉田還り松居の三振に漸く止みしも

(八商)村上第二球目を左翼越の大本壘打を獲飛し悠々生還し差二點となる、伊東遊飛徳永若原共に三振。(本校〇、八商一)
第四回(本校)吉田、近藤共に遊飛上池一匍に振はす。

(八商)伊藤右飛米澤中飛猪田三飛。(兩軍〇)第五回(本校)西堀捕那飛後松居四球に出でも西野三振宮崎二匍。
(八商)中村二匍後原四球に出でも村上三匍に二壘に封殺され伊東遊匍に村上も封殺されて代る。(兩軍〇)

第六回(本校)那須三振後植田遊匍一失に二進せしも吉田投匍近藤二匍に回復の機未だ到らず。
(八商)徳永三匍若原投匍伊藤左前安打に出でも米澤中飛に凡退す。(兩軍〇)
第七回(本校)上池二飛西堀、松居共に三振(八商)猪田三振中村右飛原三振。(兩軍〇)第八回(本校)西野三振後宮崎、那須、植田

既に五點を數ふ。

(垣中)石田三振馬淵一匍後松本四球に出でパスホールに二進せしも宇野一飛。(本校五垣中〇)

第二回(本校)那須四球に出で二盜宮崎遊前飛内野安打となり二盜西堀又もや中堅越の大三壘打を放ち那須、宮崎生還捕手逸球に西堀本壘を突いて生還す、植田三邪飛西野四球に出でも吉田の三匍に二壘に封殺され吉田二盜後近藤遊匍内野安打となり吉田生還上池二壘強襲安打に出でも近藤一舉生還せんとして本壘寸前にて刺さる、尙四點を増す。

(垣中)山本、成瀬、佐久間三者三振。(本校四、垣中〇)
第三回(本校)松居一飛後那須三遊間安打に出で二盜宮崎四球に出で那須との重盜成り西堀三直に倒れしも植田三匍失に生き那須生還植田二盜後西野左翼横を抜く二壘打に宮崎、植田生還吉田又左越二壘打に西野還りしも近藤三匍代りしも又四點を加ふ。

夫々右前、左前、中前へ安打集中し吉田遊匍に宮崎還り投手暴投に那須も還り同點となりしも近藤三邪飛試合は益々白熱化する。
(八商)村上三振伊東遊飛徳永左飛。(本校二、八商〇)

第九回(本校)上池二匍西堀中前安打に出で二盜なりしも松居三振西野遊匍に代る。
(八商)若原遊匍失伊藤三匍失に出で米澤の投前バンドに送られ、猪田再びバンドして若原還り勝敗の止めをさゝれて涙と共に退場す時に十一時五分。

野崎	須田	藤池	下堀	居
捕	一	左	投	中
遊	右	二	三	
先攻)	野崎	須田	藤池	下堀
本校)	西宮	那植	吉近	上左
捕	一	左	投	中
遊	右	二	三	
數	34	3	5	8
得	4	安	打	振
失	3	死	打	壘
盗	1	本	盜	壘
打	0	本	盜	壘
策	2	機	未	到
失	2	失		
商	村	上	東	永
原	藤	澤	田	
中	原	村	伊	徳
若	伊	米	猪	
校	本	八		
遊	左	三	捕	中
投	一	右	二	
本	八			

(垣中)渡邊死球に出でも平松二匍石田投飛馬淵一匍に入らず。(本校四、垣中〇)

第四回(本校)上池死球を喰つて出で松居中前安打失に走者二三壘那須四球に無死満壘となり捕逸に上池生還宮崎中飛後西堀中堅頭上を抜く二壘打に松居、那須還り植田遊飛西野遊匍に代る、三點を入れ大勢決す。

(垣中)松本三振(本校吉見、吉田に代る)宇野投飛山本二匍に振はず敵未だ無安打無得點。(本校三、垣中〇)

第五回(本校)吉見三匍近藤三遊間安打失に一舉三壘を占め上池三振後松居中前安打に近藤生還那須三遊間安打續く宮崎右中間三壘打に松居、那須の二者を還す西堀二〇の後バンド失にてアウト。
(垣中)成瀬右飛佐久間三振渡邊四球に出でも平松中飛して終り、十九對〇の五回コールドゲームを以て吾が軍大勝に歸す、時に一時五十五分。

本校(先攻) 須崎堀田野田(見)藤池居
那宮西植西吉(吉)近上松
左一二投捕中遊右三

29 16 2 7 3 3 12 3 0
15 0 6 3 0 0 0 0 3
得安打振死打三盗犠失策
打點安打振死打三盗犠失策

中 田淵本野本瀬間邊松
石馬松宇山成佐久久渡平
垣 投遊三左捕一中右二

三壘打 西堀(2)宮崎
二壘打 西野、西堀、吉田

試合時間 一時間三十分

岐滋大會之記

第二回戦 對武義中學戦

九月二十三日本校々庭に於て九時四十分石田(球)竹森(壘)二氏審判の下に本校先攻で開始。

第一回(本校)那須左飛後宮崎中堅越の二壘打を放ち西堀四球に出で宮崎三盗を企て、刺されしも西堀二盗植田三遊間安打に西堀長驅

生還西野三邪飛に代りしも一點を先取す。

(武中)古川右前安打に出で松尾捕邪飛後邊四球富成死球に一死滿壘の危機來りしも長谷部投捕に古川本壘に封殺され大野一匍に本校好守して敵點をなさず。(本校一、武中〇)第二回(本校)吉田一匍近藤二遊間安打に出でしも上池三匍に封殺され松居四球に出で那須遊飛に凡退す。

(武中)高垣四球に出でしも捕捕邪飛三輪三振古川三飛に振はず。(兩軍〇)

第三回(本校)宮崎右中間安打に出で一舉二盗せんとして刺さる、西堀遊間植田四球に出で續く西野中堅越の大三壘打を憂飛し植田生還吉田四球直に二盗し近藤の中前安打に西野吉田遊し近藤二盗し一舉三壘により上池死球直に二盗せしも松居の遊間に代る。

(武中)松尾、渡邊四球に出で投手二壘走者牽制惡球に一舉本壘を突いて刺さる渡邊三盗後富成中前安打に渡邊遊り二盗後長谷部左中間二壘打を放つて富成生還(本校植田中堅へ

吉田捕手へ、西野左翼へ、那須投手となる)大野遊間高垣四球に出でしも捕遊間に封殺さる。(本校三、武中二)

第四回(本校)(武中投手三壘手と代る)那須投捕宮崎死球を喫して出で牽制惡球パスボールに三壘を得西堀の遊間に生還、投手ホークに二進に植田二飛後三盗を企て、刺さる。(武中)三輪一飛古川中飛松尾三振に退く。

(本校一、武中〇)第五回(本校)西野中飛吉田一飛近藤左中間に二壘打を放ちしも上池三振に後援なし。

(武中)渡邊四球に出で二盗富成三壘手左を抜く安打に三進富成二盗せしも長谷部、大野三振高垣四球に滿壘となりしも捕三匍に無爲第六回(本校)松居右中間に快打して二壘打さなし那須四球續く宮崎右翼越の大三壘打を憂飛し松居、那須を還し西堀左前安打に宮崎生還二盗後植田三飛西野二匍に西堀三進し吉田の三匍失に還り近藤右前安打に吉田三進し近藤二盗上池又遊越安打に吉田、近藤生還せ

しも上池二盗に刺さる。

(武中)三輪二遊間安打に生き古川、松尾の遊間に三進渡邊四球に出で二盗せしも富成左飛。(本校六、武中〇)

第七回(本校)松居四球に出で二盗那須遊飛宮崎二匍失に生き松居三進西堀中前安打に松居遊り植田遊間に宮崎三壘に封殺され西野二遊間安打に西堀生還せしも吉田三匍に植田三壘に封殺されて代る。

(武中)長谷部中前安打に出でパスボールに二進大野の二匍に三壘より高垣の遊間に生還せしも續く楠中飛して終り十三對三の七回ワールドゲームにて勝つ、時に十二時十五分。

本校(先攻) 須崎堀田野田藤池居
那宮西植西吉近上松
左一二投捕中遊右三

34 13 1 8 3 2 7 0
25 14 1 8 3 2 7 0
得安打振死打三盗犠失策
打點安打振死打三盗犠失策

本校 1 0 3 1 0 6 2 13
武中 0 0 2 0 0 0 1 3

中 川尾邊成部野垣 輪
古松渡(投)長大高楠三
武 遊左捕三投中二右一

三壘打 西野、宮崎
二壘打 宮崎、近藤、松居、長谷部

試合時間 二時間三十五分

岐滋大會之記

準優勝戦 對岐阜中學戦

九月二十三日本校々庭に於て二時三十五分竹森(球)釜江、長岡(壘)三氏審判の下に本校先攻にて開始。

第一回(本校)那須投捕内野安打に出でしも宮崎投捕に那須二壘に封殺され西堀、植田共に三遊間安打に最初より一死滿壘の好機來り續く西野四球に宮崎押出されて還る、近藤投捕に西堀本壘に封殺され松居右飛に續かず。(武中)森一邪飛淺野三振後山本死球に出でしも足立遊間に空し。(本校一、武中〇)

第二回(本校)上池遊間失に生き吉田投飛那

須左前安打に走者一二壘にありしも宮崎三匍西堀一匍。

(武中)坂口中堅越の二壘打を放つて出で矢島三振後片桐右飛犠に坂口三進中尾四球に出でしも高井投捕。(兩軍〇)

第三回(本校)植田遊飛後西野中前安打に出でしも近藤の三匍に封殺され近藤パスボールに二進松居二匍失に近藤一舉に生還し松居二壘によりしも上池三振に代る。

(武中)森中前安打に出で淺野三匍に封殺せんとせしも二壘手失に一舉三進淺野二盗後山本遊間に森生還足立三壘手右を抜く安打に淺野遊り坂口三匍内野安打に生き足立三盗の際捕手三壘惡投して足立生還せしも續く矢島三振片桐二飛に代りしも一點をリードさる。

(本校一、武中三)

第四回(本校)吉田四球に出で那須左越大三壘打に生還し忽ち同點となる宮崎四球二盗後パスボールに那須宮崎生還西堀四球に出で植田中前安打西野遊間に西堀三壘に封殺され近

藤三振松居四球に出でしも上池三振。

(岐中) 中尾、高井四球に出で藤遊捕失に生

き無死満塁淺野遊捕に中尾本壘に封殺山本又

遊捕に高井還せしも森三壘に封殺され足立遊

捕一失に生きしも淺野一舉本盜せんとして刺

さる。(本校三、岐中一)

第五回(本校) 吉田三捕後那須左中間を抜い

て二壘打を放ち宮崎四球西堀遊捕に宮崎を封

殺せんせしも二壘手失に満塁となり好機來

りしも植田インフライドフライに倒れ西野右

飛に空し。

(岐中) 坂口三振不死に出で矢島の投前犠打

に送られ片桐四球に出でしも中尾遊捕高井一

旬に無為。(兩軍〇)

第六回(本校) 近藤二捕後松居死球上池三遊

間安打吉田三捕失に満塁となりしも那須又イ

ンフライドフライを打揚げ此の時上池離塁し

て刺さる。

(岐中) 森左前安打に出で淺野三振山本三直

に森と重殺されてものごならず。(兩軍〇)

試合時間 三時間二十五分

岐滋大會之記

優勝戦 對八幡商業戦

彦中か？ 八商か？ 如何なるファンにも豫

想を許さぬ優勝戦ファンは彦中へ彦中へとお

しかけ球場は試合開始一時間前には早や周囲

を埋めた。

九月二十四日本校球場に於て三時二十分登

江(球)長岡、高田(壘)三氏審判の下に八

商先攻にて開始

第一回(八商) 中村右前安打に出で原の投前

バンドに送られ續く徳永二壘手頭上を抜くテ

キサス安打に中村生還後徳永二盜伊東又もや

中堅越の大三壘打を放ち徳永還り村上四球に

出でしも直ちに一二壘間に狭撃せられて死し

若原三振せしも二點を先取さる。

(本校) 那須左飛宮崎四球に出で西堀二捕失

に生きしも植田捕邪飛西野三振に後援なし。

(八商二、本校〇)

第七回(本校) 宮崎三振西堀遊捕後植田二遊

間安打に出でしも西野三振して無為。

(岐中) 足立左前安打トネルに一舉三進せ

しも次打者坂口、矢島、片桐の三者枕を並べ

てもろくも三振す。(兩軍〇)

第八回(本校) 近藤二捕松居三振上池三旬。

(岐中) 中尾投捕高井三邪飛森投捕。(兩軍

〇)

第九回(本校) 吉田三捕内野安打に出で那須

三振後宮崎四球に出でしも西堀遊捕に吉田三

壘に封殺され植田三振に空し。

(岐中) 敵最後の攻撃に入り淺野二捕後山本

左越二壘打を放ち足立四球山本三盜せしとき

捕手三壘惡投に山本還り足立三進せしも坂口

左飛矢島一邪飛に代りしも同點となり歡衆の

熱狂クライマックスに達し滿場總立騒然たる

中に試合はいやが上にも緊張し五對五にて補

回戦に入る。

第十回(本校) 西野三捕内野安打となり近藤

一壘線上の絶好のバンド内野安打となり好機

第二回(八商) (本校植田中堅へ退き那須投

手板に立つ) 伊藤遊捕米澤、猪田共に三振

(本校) 近藤三捕内野安打に出で松居の投前

バンドに送られしも上池三振吉田二旬(兩軍

〇)

第三回(八商) 中村遊捕原遊直徳永三振

(本校) 那須遊捕宮崎遊飛西堀二旬(兩軍〇)

第四回(八商) 伊東遊捕村上四球に出で二盜

後若原も四球に出で伊藤一飛後米澤遊捕に若

原二壘に封殺さる。

(本校) 植田二遊間安打に出で續く西野右翼

越の三壘打を愛飛し植田生還近藤投捕後松居

一飛を一壘手三壘に暴投して西野も還り上池

遊飛に終りしも同點となり觀衆皆手に汗を握

る。(八商〇、本校二)

第五回(八商) 猪田三捕後中村右中間に二壘

打を放ち原遊捕失に生き徳永、伊東共に四球

村上二旬に伊東を二壘に封殺若原中前安打に

村上一舉三盜せんとして刺されしも又三點を

取られ形勢惡化する。

來る續く松居右飛失に西野近藤生還し松居三

進上池遊捕一失に生き二盜の隙に松居生還吉

田中飛後那須三捕失宮崎憤然中堅越の大三壘

打を愛飛し上池、那須生還西堀投捕前犠打に宮

崎還り植田三振に止みしもこの回計六點を加

へ大勢決し應援團狂喜す。

(岐中) 片桐中飛中尾四球に出で二盜せしも

高井三振森安全バンド失に入らず終始火を吐

く如き接戦の後十一對五にて本校勝ち優勝戦

出場權を得、時に六時城山の鐘に響く。

本校(先攻) 須崎 那須 宮崎 植田 野藤 居池 田

中 一 二 投 左 遊 三 右 捕

49 11 14 9 8 1 3 2 1

37 5 得 打 7 安 9 9 7 4 2 0 6 2

野 山 本 立 口 島 桐 尾 井

中 森 淺 山 坂 中 足 中 投 坂 矢 片 中 高 校 中

遊 三 投 捕 中 一 左 二 右 本 岐

三 壘 打 那 須、 宮 崎

二 壘 打 那 須、 坂 口、 山 本

(本校) 吉田投捕那須三旬宮崎三飛に振はず

(八商三、本校〇)

第六回(八商) 伊藤、米澤共に三旬猪田左前

安打に出でしも中村遊捕。

(本校) 西堀四球に出でしも植田遊飛西野三

振近藤投捕に振はず。(兩軍〇)

第七回(八商) 原四球に出で徳永左前安打伊

東中飛後バスボールに進塁村上死球に満塁さ

なりしも若原三旬に原本壘に封殺され徳永も

又三本間に狭殺さる。

(本校) 松居二捕後上池遊捕内野安打に出で

吉田左越二壘打を放つて上池生還那須三振宮

崎遊捕に代りしも一點を回復す。(八商〇、本

校一)

第八回(八商) 伊藤四球に出で米澤三旬を伊

藤を封殺せんとして失し兩者生きしも猪田三

旬に伊藤三壘に封殺中村中飛に米澤離塁して

重殺す。

(本校) 西堀捕邪飛植田遊飛西野一飛(兩軍

〇)

對鈴鹿商店 四對三 七回 負

ク彦根高商 十一A對四 勝

ク長濱商業 九對二 七回 〇

ク京都師範 八A對二 負

ク彦根商業 十四對〇 七回 勝

ク水口中學 八A對二 〇

ク八幡商業 四A對三 負

ク大垣中學 十九對〇 五回 勝

ク武義中學 十三對三 七回 勝

ク岐阜中學 十一對五 十回 勝

ク八幡商業 六對三 負

ク神戸税關 降雨ノ爲無勝負

ク水口中學 四對一 負

縣下リーグ最優勝戦

以上二十九戦 十九勝 九負 一無勝負

(國枝記)

庭球部々報

我が部は今年こそはの信念のもとに伊吹山未だ雪とけ始めざる三月より愛校に燃ゆる血潮と共に猛練習を開始した。

五月十八日彦根商業と本年の第一戦を交ふ全勝せり。

本校 彦根商業

No.1 藤田 6—1 日比

No.2 池田 6—4 服部

No.1は敵に一步もゆづらず悠々と勝つ。No.2は敵に一步もゆづらず悠々と勝つ。二年間の仇コンデション悪く苦戦の後勝つ。二年間の仇を報ゆ。

ク八幡商業 六對三 負

岐滋大會優勝戦

ク神戸税關 降雨ノ爲無勝負

名古屋高商主催全國大會出場

六月九日名古屋高商の全國大會に出場せり。

ダブル一回戦

〔木村〕 2—6 倉吉中學〔藤井〕

我が軍元氣に二ゲームを先取したが老巧なる倉吉勢の爲に敗る。因に倉吉は本年濱寺大會に優勝せり。

シングル一回戦

本校 堤 6—4 伏見商業

若武者堤接戦數十合強敵を軍門に下せり。

二回戦

堤 2—6 岡崎師範

油断したのか堤全く一回戦の元氣はどこもやら簡単に敗られた。

七月二十三日長濱商業と同校コートに戦ふ大勝す。

ダブルス

本校 長農

戦士の意氣軒昂昨日に勝る冴えを見せたが試合上手の師範軍に惜しくも敗られた。

八月二日、我が部は天も衝かん勢で大阪に出發した。

シングルス

本校 堤 2—6 大連育成

遠來軍に名をなましむ。

八月三日

ダブルス

本校 木村 5—6 〔松井〕〔明星商業〕

始め五—一をリードしてもう勝つたと思つたが敗の始めでずる／＼と引づられて終に形勢逆轉惜敗した。期待した濱寺もあの七月の猛練習のかひもなく諸君の御期待にそむいた。御海容を乞ふ。

十一月十七日三高主催大會に参加す。

二回戦

本校 藤田 6—3 〔神田〕〔明星商業〕

運命の皮肉はこゝに濱寺の仇敵と又當つた

が簡単に勝つ。

三回戦

4—6 細田〔平安中學〕

濱寺のランナースアツプ平安と當り我軍のあたりすばらしく3—2をリードし細田にロブを集中して成功したが敵もさる者、サードにボールにグリーンエースを重ねて逆にリードし遂に6—4にて敗れた。

(因に平安は濱寺に於て倉吉と6—4の接戦を演じ、倉吉が優勝した)

本年度校内大會優勝者

一、二年 小川、箕田(一年)

三、四、五年 一居、吉田(五年)

ランナースアツプ 西村、田村(三年)

なほ本年度選手は

部長	小松先生
理事	町田先生
主將	木村三雄
ク	池田虎雄

シングルス

No.4 藤田 4—6 兒玉

◎No.3 池田 6—2 吉村

◎No.2 木村 6—1 大村

◎No.1 堤 6—0 武藤

兒玉、三輪の小冠者奮戦一番本校の藤田、堤組を喰ふ。敵ながら天晴。No.1はしば／＼ボールに得點して勝つ。シングル藤田コンシジョン悪く兒玉に名をなましむ。池田始めストロークにミス多くゲームはシッソして進んだが、池田奮然グラウンドストロークを強打して勝つ。木村サーブスをキープしてカッテイングで戦ひ安々と勝つ。堤此の日の當りものすごく打球殆んどノータッチで敵はもろくも此の完璧のグラウンドストロークの前に下つた。

七月二十四日滋賀師範と同校コートに戦ふ

四年	藤田富男
三年	堤登良雄
二年	川脇高男
一年	北澤重雄
二年	奥村保次
一年	箕田肇
二年	小川福太郎
三年	松本清

(完)

陸上競技部々報

(上林記)

部長 小野先生
 理事 居井先生
 委員 五年 吉田 弘 上林 道

四年	中村 正作
三年	喜久川二造
二年	古川傳三郎
一年	吉田 弘
二年	中村 正作
一年	桂 敬信
二年	近野金三郎
三年	古川傳三郎
二年	澤田平三郎
一年	山口 隆爾
二年	藤本 富雄
三年	林 寛
四年	馬場 元一
三年	加藤 黙英
二年	上林 道
一年	前川伊太郎
二年	柴田 憲一
三年	馬場 元一
四年	戸下 善朗
五年	加藤 黙英
六年	柴田 禮二
七年	加藤 黙英
八年	柴田 禮二
九年	清水英太郎

開始したのである。

第一回校内競技會記

我が部は今年の奮闘に先立ち、今年始めて第一回校内競技會を催した。此の日天晴れ春風静かに、絶好の運動日であつた。放課後直ちに競技に移り、其の間好記録續出し盛況裏に四時過ぎ閉會した。當日の成績は次の通り。

二百米	一着 前川伊太郎 (獨走)
四百米	一着 藤村 正三 二着 古川 三着 椋田
八百米	一着 古川 幸雄 二着 廣瀬 三着 藤村
一千五百米	一着 古川 幸雄 二着 廣瀬 三着 藤村
五百米	一着 前川伊太郎 (獨走)
八百米	一着 藤村 正三 二着 古川 三着 椋田
一千二百米	一着 藤村 正三 二着 古川 三着 椋田
二百米	一着 前川伊太郎 (獨走)
四百米	一着 藤村 正三 二着 古川 三着 椋田
八百米	一着 古川 幸雄 二着 廣瀬 三着 藤村
一千五百米	一着 古川 幸雄 二着 廣瀬 三着 藤村

我が部は今年年來の闘將南城兄の卒業に會ひ、非常な痛手を受けた。併し我が部は尙愛校の念に燃ゆる選手十餘名を有しこゝに陣容を整へ、淺春尙寒き頃から我々は互に助け合ひつゝ、昨年にまさる戦績を残し、我が部史を花と飾ざらんことを期し、こゝに猛練習を

記録 五分五一秒
 一着 廣岡 宗隆 二着 住田

二百米 一着 清水英太郎 二着 室谷
 三着 上田

八百米 一着 林 寛 二着 井口
 三着 北村

走幅跳 一等 西堀 新二 二等 中村
 三等 近野

走高跳 一等 馬場 元一 二等 西堀
 三等 堤

記録 一米三八

走幅跳 一等 山口 二着 種村
 三等 藤本

走高跳 一等 種村 敏雄 二着 藤本
 記録 一米一八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

八百米リレー 第一學年
 一着 一組 記録 二分一六秒
 第二學年
 一着 一組 記録 二分六秒八

三校對抗競技會記

四月廿九日、午後一時から彦商校庭に於て彦商・彦工・彦中三校の對抗競技練習會を催した、この日は絶好の運動日であつたが、我等のコンディション悪く我等は存分に力を發

揮するこゝが出来ず、終に彦商に名をなされた。我々はこの敗戦に遇ひ、益々互に勵し合ひ、猛練習をなすこゝをちかつたのである。因に戦績は次の通り

二百米	一着 羽淵 (商)
四百米	一着 羽淵 (商)
八百米	一着 羽淵 (商)
一千二百米	一着 羽淵 (商)
二百米	一着 桂 (中) 差一米
四百米	一着 前川 (中)
八百米	一着 前川 (中)
一千二百米	一着 前川 (中)
二百米	一着 羽淵 (商) 記録 不詳
四百米	一着 羽淵 (商) 記録 不詳
八百米	一着 羽淵 (商) 記録 不詳
一千二百米	一着 羽淵 (商) 記録 不詳
二百米	一着 吉田 (中)
四百米	一着 吉田 (中)
八百米	一着 吉田 (中)
一千二百米	一着 吉田 (中)
二百米	一着 塚野 (工)
四百米	一着 塚野 (工)
八百米	一着 塚野 (工)
一千二百米	一着 塚野 (工)
二百米	一着 阿知波 (商)
四百米	一着 阿知波 (商)
八百米	一着 阿知波 (商)
一千二百米	一着 阿知波 (商)
二百米	一着 住田 (中)
四百米	一着 住田 (中)
八百米	一着 住田 (中)
一千二百米	一着 住田 (中)
二百米	一着 正田 (商)
四百米	一着 正田 (商)
八百米	一着 正田 (商)
一千二百米	一着 正田 (商)
二百米	一着 住田 (中)
四百米	一着 住田 (中)
八百米	一着 住田 (中)
一千二百米	一着 住田 (中)
二百米	一着 正田 (商)
四百米	一着 正田 (商)
八百米	一着 正田 (商)
一千二百米	一着 正田 (商)

住田最初トップを力走したがラストに於て二

位となる。

八百米 一着 阿知波(商)

記録 二分二秒七

二着 宮内(工)

三着 不詳(商)

千五百米 一着 阿知波(商)

記録 四分五秒七

二着 住田(中)

三着 二村(商)

住田力走し二着となる。

五千米 一着 宮内(工)

記録 一八分四〇秒二

二着 廣岡(中)

三着 北村(商)

廣岡遂に及ばず、二位に終る。

八百米リレー

一着 商業チーム

二着 工業チーム

三着 本校

我がチームは選手が故障で揃はなかつた爲

ラストで胸一つの少差で敗れた。

(二部)

百米 一着 三橋(中)

記録 一三秒九

二着 種村(中)

三着 安井(工)

三橋、種村共に楽に勝つ。

二百米 一着 山口(中)

記録 三〇秒一

二着 種村(中)

三着 三橋(中)

八百米リレー

一着 本校

記録 二分三秒九

(三橋、種村、北村利、山口)

二着 彦商チーム

三着 彦工チーム

二部の方は我が校全く他校を壓す。

フィールド(一部)

走幅跳 一着 西村(商)

記録 四米九七

二着 木村(商)

三着 吉田(中)

吉田コンデイション悪く三位。

走高跳 一着 吉田(中)

記録 一米五〇

二着 阿知波(商) 一米四五

三着 古川(中) 一米四〇

吉田容易に一位となる。古川は三等を争ひ終

に勝つ。

三段跳 一着 吉田(中)

記録 一〇米五〇

二着 西村(四)(商)

三着 西村(三)(商)

吉田樂に一位となる。

圓盤投 一着 木村(商)

記録 二六米三二

二着 西村(商)

三着 澤田(商)

古川頑張りしも及ばず、我校惨敗す。

砲丸投 一着 木村(商)

記録 一〇米六四

二着 佐野(商)

三着 馬場(中)

槍投 一着 木村(商)

記録 三七米二〇

二着 石田(商)

三着 西村(商)

全く商業に獨占された。

第二回湖東陸上競技會記

五月廿六日本校々庭に於て第二回湖東陸上

競技會を開催した。當日は絶好の運動日和を

迎へ、午前九時當番校長代理として原田先

生の挨拶あつて後直ちに競技を開始した。

我等は必勝を期して戦つたが、遂に武運つ

たなく惨敗地にまみれた。當日の参加校は八

商、神商、八中、虎中、長商、長農、本校の

七校であつた。當日の戦績は左の通り。

トラック

百米 前川樂に豫選をパスしたが、決

勝に於てはベストに次ぐにベス

トをもつてしたが遂に第六着に

終る。

二百米 前川、桂ともに武運つたなく豫

選にて落つ。

千三百米 住田奮闘し四位を保つ。

五千米 喜久川ラストの奮闘で五位とな

る。

八百米リレー 選手故障の爲やむを得ず棄

権す。

フィールド

走高跳 吉田コンデイション悪く敗る。

走巾跳 吉田腹工合悪くやむを得ず棄権

圓盤投 古川及ばず敗る。

砲丸投 一圓よく奮闘したが少差にて二

位となる。記録 一〇米六〇

尙當日各種目に於けるベスト記録は次の通

り。

百米 一二秒六

二百米 二六秒フラット

四百米 一分〇秒六

八百米 二分二秒九

千三百米 四分二八秒八

五千米 一分九分一秒八

八百米リレー 一分四八秒八

千六百米リレー 四分二〇秒

走高跳 一米七〇

走巾跳 五米五七

三段跳 一米五八

棒高跳 二米八〇

槍投 三九米六二

圓盤投 二四米五九

砲丸投 一〇米八一

各校得點は八商の七四、五點が最高、本校の

一點が最少、八商第一位となり湖東の覇者

となる。第二位は神商。

我々はこの惨敗に對し、ますます努力せん

ことをなかつたのである。

以上

第七回縣下中等學校陸上
競技大會參加記

来た！我々が待ち望んだ時は終に来た。
幾度か血涙にぬれたこの怪腕俊脚を以て、
十月六日大津商業グラウンドに於て開かれた
縣下大會に参加した。然るに！今また惨敗地
にまみれ、血涙顔に傳はる。許せ！六百の健
兒諸君！
當日の戦績は左の通り。

トラック（一部）

- 二百米 前川奮進したが及ばず豫選にて敗る。桂落選
- 四百米 戸下奮はずして敗る。
- 八百米 喜久川力走したが亦敗る。
- 千五百米 中村、柴田共に奮闘し最初有望に見えたが、ラストにて敗る。
- 一萬米 廣岡力走し、倒れて後止むの勢をもつてしたが遂に七着となり

惜敗す。
二百米低障碍 吉田奮ひ貴重なる一點を得
八百米リレー 残念乍ら棄權す。
（二部）

- 百 米 三橋豫選に落ちたが、清水よく奮走し豫選にパスしたが準決勝にて惜敗す。
- 二百米 奮はず敗る。
- 八百米 山口コンデイション悪く日頃の實力を發揮し得ず豫選に落ち。林頑振るも及ばずして敗る。
- 八百米リレー 力走するも及ばずして惜敗す。

フィールド（一部）

- 走巾跳 近野頑張りしもコンデイション悪く存分の力出ずして敗る。
 - 走高跳 吉田ハードルの走後で疲れ甚しく惜敗す。
- かくして我校は各選手の奮闘にもかかわらず

ずわづかに一點を得て退くの止むなきに至つた。
尙本年度の月桂冠は一部は八幡商業、二部は八日市中學に歸した。

大津商業運動會へ遠征の記

十日廿九日。試験中であつたが、前川、那須、吉田、西堀の四君は大商運動會に参加し八百米リレーに於て滋賀師範と戈をまじへ、三米の差で惜敗した。

彦根高商運動會中等學校リレー參加記

十一月二日。前川、宮崎、吉田、西堀の四君を高商に派遣し奮闘したが及ばず八商に名を成さしめた。尙當日の戦績は

- 一着 八幡商業
- 二着 本校

三着 彦根商業
前川スタートよく一位を占めたがラスト西堀に於て遂に四米の差で八商に敗る。實に残念な敗北であつた。

大阪高等學校創立記念運動會出場記

十一月十日。前川、那須、吉田、西堀の四君、大高の運動會に参加し、雨天にも拘らず奮戦苦闘したが遂に及ばずして敗る。
八百米リレー！

- 一着 御影師範 記録 一分三七秒
- 二着 池田師範
- 三着 高津中學
- 四着 本校

八高主催全國中等學校競技大會遠征の記

十一月十七日。前川、那須、吉田、西堀、宮

崎、古川の諸君は八高主催の全國中等學校陸上競技大會に参加し、優秀な成績を収めた。

因に當日の戦跡は次の通り。
百米第一豫選 前川スタートにおくれたが力走し、二着にて入選。タイム一二秒二

尙一着は愛知一師の相羽君でタイムは一二秒フラット。
前川百米準決勝にてA組に出場（三着まで入選）遂に四着にて惜敗す。尙A組一着は全國中等學校の勇、岡崎師範の黒野君。

- A組 一着 黒野（岡師） 記録 一一秒六
- 二着 田中（名商）
- 三着 相羽（愛一師）
- 四着 前川（本校） 参考記録 一二秒一

四百米 宮崎奮闘の甲斐なく練習不足の爲ラストきかず三着にて落選。
二百米低障碍 吉田百米頃までトップであ

つたがコーナーにかゝつて歩調合はず、惜しくも三着にて落選。

- 一着 岡野（京都師）記録 二九秒八
- 二着 伊藤（刈中） 八百米リレー

第一豫選。B組参加校、岐阜中、中京商、本巢中、愛一師、一宮中、本校の六校（二着まで入選）

- 一着 愛知一師 記録 一分四六秒
 - 二着 本校 一分四七秒六
- 前川スタートよくトップとなり、第四走者西堀までリードしたが、ラスト七〇米の所で愛師に抜かれ、第二位となり、第一豫選をパスした。
- 第二豫選。C組参加校、岡崎師、岐阜師、京都師、育英商、本校の五校（二着まで入選）
- 一着 京都師 記録 一分四四秒
 - 二着 育英商
- 前川スタート悪く、力走したが及ばず遂に

第四着となつて惜敗した。

以上

回顧

今年度の競技部は血と涙とで色採られた。其の敗憐の跡の餘りに大きくして且多くあるを見るに及んで今また新たな悲哀を感じるのである。今年の競技部は葉落ちる秋のそれであつた。敗れたことは無念である。血をはかればかりの思ひである。併しながら我々はこの血と涙とを以て終始したこの一年の苦闘が必ずや將來に於てむくいられ、そこに黄金時代の創造を確信して止まないものである。これが我が部史の頁を飾ることをあへて喜ぶのである。否、欲するのである。黄金時代創造の基となることを信じて。

去るに臨んで残る競技部諸君の來年度の奮闘めざましからんことを祈る。

(終)

水泳部々報

四月中旬、春風未だ冷きに我等は月桂冠を得んと練習を開始す。

七月十一日、同志社大學の横田氏をコーチヤとし我等は一同元氣よく練習に練習を重ねた。そして大會の一日も速きを願つた。

近府縣中等學校競泳大會 出場之記

七月十四日、午前六時彦根出發會場に迎ふ入場式も終へて二百米リレーより開始さる。

當日の成績は

二百米リレー(メンバー、山本、林、坂野、松田)

皆よく奮闘せし功ありて豫選三着、決勝にて四着となる。

得點三 タイム二分十一秒

百米自由型(山本、林、坂野)各入選

準決勝にて山本、林ベストを盡せしも落選、坂野決勝にて三着、三點

二百米自由型 林、坂野豫選、林一着、坂野三着、林のタイムは三分一秒、坂野三分五十四秒

準決勝林全力を盡せしに其の甲斐なく落選、坂野棄權

四百米出場者なし。八百米なし

百米背泳 山本、郡田、豫選にて山本入選、郡田三着となり落選、決勝にて山本疲勞はなはだしく五着になる。一點

二百米胸泳 喜久川、藤本、共によく豫選に入り準決勝にて藤本惜しくも落ちる、決勝にて喜久川三着となる。三點

合計得點十點 第五位 十五校參加

此の成績に我等は満足は出来ない。然し昨年までの歴史を見るに我等の實力の向上を如實に語つてゐるではないか。炎天膚を焼く中に選手一同熱心なるコーチを受けた。

湖東大會出場之記

七月二十一日、昨年は無念ながらも敗れてしまつた。が彦商、虎中何者ぞ、我等は勝を期して出場す。都合により八中のプールにて行ふ。

その成績は左の通り。

二百米リレー 一着 タイム 二分十三秒

十點

百米得點なし。

二百米自由型 林二着となる。タイム 二分

五十三秒 三點

四百米自由型 坂野一着 タイム 六分十七

秒 得點五

千五百米 小菅よく奮闘せしも四着となる。

一點

百米背泳 山本、郡田 決勝にて山本斷然他

をリードし一着となる。タイム 一分二十七

秒 郡田よく三着となる。得點七點

二百米胸泳 喜久川、藤本、藤本孫共入選

決勝にて喜久川二着、藤本善雄四着、四點

休 憩

八百米リレー 一着 タイム 一分五十九秒

かくして月桂冠は我が軍に下る。

待ちに待ちたる縣下大會も數日の後に迫つ

た。我等の恨み深き今津中學を栗太農を一氣に倒さんと練習を積んだ。

遂に遂に時來れり。

縣下中等學校競泳大會 出場之記

戦はんかな時來る。

七月二十六日、彦根驛に集合列車の人とな

る。

午前九時二百米リレーより始まる。

リレー三着にて入選各々コンディション悪し

二回二百米自由型豫選 松田四着となり(三分九秒八)ベストフラインスにて入選せしも棄

權 小菅落選

準決勝にて山本、林ベストを盡せしも落選、坂野決勝にて三着、三點

二百米自由型 林、坂野豫選、林一着、坂野三着、林のタイムは三分一秒、坂野三分五十四秒

準決勝林全力を盡せしに其の甲斐なく落選、坂野棄權

四百米出場者なし。八百米なし

百米背泳 山本、郡田、豫選にて山本入選、郡田三着となり落選、決勝にて山本疲勞はなはだしく五着になる。一點

二百米胸泳 喜久川、藤本、共によく豫選に入り準決勝にて藤本惜しくも落ちる、決勝にて喜久川三着となる。三點

合計得點十點 第五位 十五校參加

此の成績に我等は満足は出来ない。然し昨年までの歴史を見るに我等の實力の向上を如實に語つてゐるではないか。炎天膚を焼く中に選手一同熱心なるコーチを受けた。

百米背泳豫選 山本強敵今津中學の西川を壓

し一着となり、一分二十四秒八の新記録を出

す。郡田落選

百米自由型豫選 A坂野一着 D組にて林二

着となる

四百米自由型 井口豫選にて三着入選

二百米平泳豫選 喜久川一着 藤本棄權 藤

本孫信落選

百米背泳準決勝 山本二着となる

百米準決勝 林、坂野共に三着

四百米準決勝 井口落選

二百米平泳準決勝 喜久川一着 タイム三分

十七秒六

午後の部決勝に入る。

二百米リレー このレースは我々の最も期待

せしものなるも選手一同のコンディション悪

しく等外に落つ

千五百米 森最後まで奮闘せしも落つ

百米背泳 山本ベストを盡せしも今中の西川

に敗れ二着となる。四點

百米自由型 坂野三着 林五着になりしも審判の誤りか六着に決せらる。三點
二百米平泳 喜久川スタートより一位になり一着 タイム三分十二秒 五點
八百米リレー(坂野、松田、山本、林)二百米リレーにて敗れし我等はこのリレーにて取返さんと努めしも遂に四着となる。三點
總得點十五 順位三位

かくして大會も終つた。一同疲れし身を家路に運ぶ。その翌日より又練習に餘念がなかつた。或はロングを引き或はダッシュの練習を。

全國中等學校琵琶湖競泳大會

八月十一日同十二日の兩日にわたり木戸濱明大プールにて行はる。前十日目的地なる木戸に向ふ。出場選手山本、喜久川、林、坂野松田。宿所たる明大水泳部合宿所にて休憩の後、かるき練習を爲す。明日の大會を夢みながら床につく。

當大會の成績は左の通り。

二百米リレー 豫選二着 二分八秒二
決勝にて四着となる。タイム 二分六秒八
百米自由型 第一豫 山本B組にて二着 一分十一秒四 坂野D組にて二着 林H組にて二着となる

第二豫選
坂野二着(一分十一秒二) 林一着(一分十三秒) 山本三着(一分十一秒六)
準決勝
坂野三着。山本四着(一分十二秒四)となりしも落ちる。林落選

決勝
坂野 四着 一分十秒六
二百米自由型 豫選
林二着 松田落
第二豫選

林 三着となる(二分四十五秒) 準決勝にて惜も落選
四百米自由型 坂野棄權

八百米 出場なし

二百米胸泳 豫選
喜久川一着 準決 一着
決勝 勝

喜久川一着となる
百米背泳 豫選

山本一着 一分二七秒 準決勝にて二着となる

決勝 勝
よく奮闘せしも遂に四位に落つ

八百米リレー(坂野、松田、山本、林)
豫選にて一着となり(一分四十五秒)しも決勝にて皆疲れて等外に落つ

總得點十二點 第四位
以上は今年中の我部の成績をざつと述べたのである。

今年こそは勝たねばならない今年こそは固く決心した我部選手は、新春の香未ださめやらぬ頃より冷き水をも物ともせず、設備の

一つとしてなき所で毎日練習したのである。

六月に入り不完全ながらもスタンドが出来たので、我々はこれを唯一の頼りに練習したのでした。少しでもよきレコードを得やうと努めたのです。かくして六月も夢と過ぎ七月となりコーチャ横田氏を迎へて、雨後の筍の様にレコードは早められたのです。疲れも忘れて喜んだのでした。

この様に好記録を得た我々は實力を發揮すべく、近府縣大會に出場しました。が其の結果は残念にも敗れてしまつたのです。勝てなかつたのです。残念でした。

第一回の試練には無念にも一敗地にまみれた我々は第二回の試練たる湖東大會を迎へたのでした。この大會には數多の新記録を得て優勝することが出来たのです。しかし湖東の覇權を掌握したのみで満足は出来ません。縣下大會にはと努力しましたが、これも強敵今津中學及び前年の優勝校栗太農學に勝をゆずらなければならぬ様な結果になつたのでし

た。しかし勝中を屠つたのは大なる收穫でした。これまでの大會をかへり見てつくづく感じ

た缺點があります。それは長距離選手のないことです。

特種なバツク、プレスト、或は短距離には相當な選手を有してゐるけれども、この長距離選手のないことは弱味であり、又大なる原因となつたのです。そこで一年中より選びこの種の選手として養成してゐるのです。そして著るしき進歩を見たのですが、彼等の努力も報ひられずに終つたのです。

琵琶湖大會も前述の様な成績で第四位に落ちてしまつたのです。かくして我等のシーズンも夢と過ぎてしまつたのです。我等の努力は一つとして報ひられはしなかつたのです。我等は前年までの我が部の歴史と比べてその向上を思ひ僅に心を慰めてゐるのです。

來年こそは「今中何者ぞ、栗農恐れるに足らず」の意氣を以て必勝を期してゐる次第で



雜 錄

本校日誌抄

- 〇一月
- 一日 火曜 拜賀式舉行
 - 八日 始業式
 - 十一日 金曜 白井教諭新任式
 - 十七日 木曜 寒稽古開始
 - 二十一日 月曜 第五學年法廷裁判見學の爲長濱に赴く
 - 二十三日 水曜 寒稽古終了
 - 二十三日 水曜 第三學期考查開始
 - 二十六日 土曜 高商主催武道大會選手出場
 - 二十八日 月曜 久邇宮殿下御薨去により學校長より訓示あり
- 〇二月
- 一日 金曜 第八高等學校教授小室由三氏文部省視學委員として來校國語授業を視察す
 - 七日 木曜 東京高師教授指導の下に國漢科研究授業あり
 - 十一日 月曜 紀元節祝賀式舉行
 - 十九日 火曜 五年考查始まる
 - 二十三日 土曜 校友會主催五年卒業豫饌送別會あり
- 〇三月
- 一日 金曜 學校長「教育ニ關スル御沙汰書」謄本傳達式に參列
 - 二日 土曜 水泳部學藝部茶話會
 - 七日 木曜 第四十一回卒業式舉行
 - 九日 土曜 十日は日曜に付本日第四臨時に「奉天の會戰に就て」松尾配屬將校の講演あり
 - 十六日 土曜 終業式
 - 二十二日 金曜 入學考查試問委員會調査委員會
 - 二十六日 火曜 入學考查開始
 - 三十日 土曜 奉安殿竣工同窓會に引繼了
入學許可者を考查番號順にて發表

- 〇四月
- 八日 午前八時三十分始業式
 - 九日 佐藤先生新任式
 - 十日 各組級長及校友會各部委員選舉
午後一時新入生徒入學式
 - 十一日 新舊生徒對面式
松尾先生告別式
昨年度に於ける品行方正學業優等者及皆勤者に賞狀授與式
メートル法度量衡制定に關し宮原先生の紀念講話
- 〇五月
- 一日 水曜 放課後競技部小會
 - 二日 水曜 竹下先生新任式
 - 三日 水曜 午前十時招魂社參拜
 - 四日 水曜 午前十時天長節拜賀式
 - 五日 水曜 午前九時四十五分より彦根港灣に於て本校創立記念日式引續き端艇競争大會
 - 六日 木曜 午前十時奉安殿に御眞影奉遷式舉行
- 〇六月
- 一日 土曜 虎姬中學に於て開催の縣下英語科教員研究會へ左記先生出張 校長、原田、村野、佐藤、平井、石坪、藤木先生
 - 二日 土曜 北野神社に參拜御加護を祈願す
 - 三日 土曜 四五兩學年生徒御親閱の際し氏神千代神社
 - 四日 土曜 四五學年生徒御親閱の爲午後九時二十分大坂へ發
 - 五日 水曜 四五學年大阪にて御親閱を受く
 - 六日 木曜 四五學年無事御親閱を受け午前六時十分歸
- 〇七月
- 一日 金曜 藤田校醫の結核豫防に關する講話
 - 二日 木曜 身体検査開始
 - 三日 土曜 「希望社」講師山崎氏の講話
 - 四日 木曜 本日より三日間臨時考查
 - 五日 月曜 平井先生新任式
 - 六日 月曜 海軍紀念日講話。講師吳海軍鎮守府軍需部長富岡海軍大佐
 - 七日 金曜 五年生父兄母姉懇談會
學務部長來校

校す 四五學年臨時休業

- 七日 金曜 御親閱報告並に訓辭
- 十四日 金曜 武道部放課後工業學校に練習試合に赴く
- 二十六日 水曜 商業學校に於る英語教授研究會に參列平井石坪教諭午後學校長、原田、佐藤兩教諭參觀
- 二十八日 土曜 學期末考查始る

寺本清一教諭新任式

- 七月
- 一日 月曜 京都中等學校數學科教員指導講習會本校に於て行はる 講演指導講師角達介教授
- 三日 水曜 同講習會終る
- 九日 火曜 縣參事會一行會計検査
- 十一日 木曜 水泳開始
- 十六日 火曜 一年生父兄母姉會
- 十八日 木曜 五年生敦賀兵營内宿泊の爲め午前十時四十分出發
- 十九日 土曜 同上五年生歸校
- 二十四日 水曜 終業式

○九月

- 二日 月曜 始業式
- 後藤清一先生新任式
- 十四日 土曜 八日市校庭にて對水中野球戰あり
- 十七日 火曜 敦賀第十九聯隊長春山大佐來校午前中視察
- 二十一日 土曜 五年生二十五名敦賀に於る射擊競技會に出發
- 二十四日 火曜 招魂社祭禮につき生徒職員一同參拜
- 八幡商業との優勝試合あり
- 二十八日 土曜 武道部十名出發

○十月

- 一日 火曜 司法紀念日につき四五年生聽講す
- 二日 水曜 午前神宮式年遷宮祭に付き遙拜式舉行
- 三日 木曜 新庭球コート開き
- 本校職員チーム對工業職員チーム戰あり本校勝
- 七日 月曜 五年修學旅行隊出發
- 八日 火曜 第四學年修學旅行隊出發
- 十一日 金曜 三年以下内湖廻り遠足舉行

五年旅行隊無事歸校

- 十二日 土曜 四年旅行隊無事歸校
- 十七日 木曜 陸上大運動會
- 二十一日 月曜 午後二時朝香宮殿下に對し奉り高商グラウンドにて聯合分列式舉行
- 二十二日 火曜 本縣長官本校御視察
- 二十四日 木曜 午前八時五分朝香宮殿下御出發につき玄宮園門前にて奉送申上ぐ
- 二十九日 火曜 各學年共考查施行
- 大商運動會にリレー選手派遣

武道部武德會大津支部出場

- 十一月
- 二日 月曜 第二學期考查始る
- 十七日 水曜 佐野教諭甲府高女轉任につき告別式あり
- 十八日 水曜 學校教練査閱
- 二十四日 火曜 學校長御大禮紀念章拜受の爲上縣終業式

昭和四年度校友會各部役員

- 十一月
- 二日 土曜 大久保學務部長午前九時半來校御視察
- 三日 日曜 明治節拜賀式舉行 式後マラソンレース舉行
- 十三日 水曜 大正天皇行幸啓紀念日 大正天皇御聖影を拜し舉式 九時半より武道大會
- 十四日 木曜 發火演習行はる
- 十八日 月曜 競技部八高競技會出場
- 庭球部三高競技會出場

◇學藝部

- 部長 村野先生
- 理事 居井先生
- 委員 (五年) 夏川 孝太郎 山村 義信
- (四年) 西村 敏雄 水波 淳
- (三年) 近藤 謙次郎 西村 義雄

◇雜誌部

- 部長 笠井先生
- 理事 藤下先生 佐野先生
- 委員 (五年) 組田 重嘉 川澄 健一
- 茶木 伊三郎 若原 文五平

◇端艇部 部長 宮原先生
理事 上木先生 薄木先生
委員(五年) 居山 猪一 一圓 宣雄
山口 通次郎
(四年) 森野 壽 西田 悍

◇圖書部 部長 松田先生
理事 竹下先生 及川先生
委員(五年) 濱村 正男 近藤 覺次郎
田村 正一 末松 修
(四年) 高橋 健一 北村 清
林 弘英 粕谷 定輝
(三年) 圓城 喜三 飯島 三郎
前川 弘 上田 誠治

◇野球部 部長 佐藤先生
理事 平井(清)先生
委員(五年) 西堀 新二 西川 伊之助
外村 庸三
(四年) 吉見 東三 國枝 保
平塚 孝城
(三年) 西野 健次郎 近藤 專太郎

◇武道部 部長 笠井先生
理事 村山先生 内田先生
委員(五年) 細野 善正 山本 梯藏
横田 廉一 津田 元次郎
(四年) 筒井 康彦 西川 義定
竹林 紀夫 藤村 正三
(三年) 野口 龜吉 登

◇庭球部 部長 小松先生
理事 町田先生
委員(五年) 木村 三雄 池田 虎雄
(四年) 大照 敏 藤田 富男
(三年) 堤 登良雄 西村 修

◇競技部 部長 小野先生
理事 居井先生 石坪先生
委員(五年) 中村 正作 吉田 弘
(四年) 桂 敬信 喜久川 二造

◇水泳部 部長 白井先生
理事 杉原先生
(三年) 古川 傳三郎 加藤 默英
馬場 元一

會計報告

昭和四年度 校友會費收入豫算書

費目	豫算額	備考
前年度繰越	一、五三六、〇三三	
職員酬金	一七、〇〇〇	四月實収ニヨル
生徒酬金	四、四六六、〇〇〇	五百八十名平均
新入會金	二六、〇〇〇	四月實収ニヨル
預金利子	五、〇〇〇	
計	六、〇九九、九五三	

昭和四年度 校友會費支出豫算書

費目	豫算額	備考
端艇新造費	五二五、九七〇	
積立		
同本年度積立	一〇〇、〇〇〇	
運動場修復	四〇〇、〇〇〇	庭球場、野球場
學藝部	五〇、〇〇〇	
圖書部	三〇、〇〇〇	
雜誌部	三〇、〇〇〇	
武道部	四〇、〇〇〇	
端艇部	八〇、〇〇〇	
野球部	八〇、〇〇〇	
庭球部	四〇、〇〇〇	
競技部	二五〇、〇〇〇	
水泳部	一〇〇、〇〇〇	
陸上運動會費	二五〇、〇〇〇	
天長節費	五〇、〇〇〇	
衛生費	五〇、〇〇〇	
道具費	一五〇、〇〇〇	
遠足費	五〇、〇〇〇	
賞品費	一〇〇、〇〇〇	
卒業式費	一〇〇、〇〇〇	
御眞影奉還式費	三〇〇、〇〇〇	
園藝費	五〇、〇〇〇	
雜費	三〇、〇〇〇	
豫備費	四〇、〇〇〇	

計 六四九、九五三

昭和三年度 校友會費收入決算書

費目	豫算額	決算額	差額
前年度繰越	二六四、七四七	二六四、七四七	—
職員離金	一四、七〇〇	一七、三六〇	二、八六〇
生徒離金	四、五〇〇	四、五〇〇	—
新入會費	二四、〇〇〇	二四、〇〇〇	—
預金利子	五、〇〇〇	一〇、八八〇	五、八八〇
計	七、四五〇、〇七	七、七四、〇七	二、五九、〇〇

昭和三年度 校友會費支出決算書

費目	豫算額	決算額	差額
端艇新造費	一、五五、五〇〇	一、五五、〇〇〇	五〇〇
同本年度積立	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	—
學藝部	五〇,〇〇〇	一四、七七〇	三五、二三〇
圖書部	三〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	—
雜誌部	三〇〇,〇〇〇	三〇八、一〇〇	八、一〇〇
武道部	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	—

端艇部	野球部	庭球部	競技部	水泳部	陸上運動會	天長節費	衛生費	道具費	遠足費	賞品費	卒業式費	園藝費	雜誌費	豫備費	計
八〇〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一八〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	七九,一三七	七、七四、〇七
八〇〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一八〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	七九,一三七	七、七四、〇七



編輯後記

組田重嘉

弱々しい白色光線が疎らな梢の影を淡く地上に投射してゐる沈黙の冬——。

校友會誌第三十九號を諸君の前に提出する。うら若い純情の迸りが新しいインクの香りとなつて現はれ、諸君は少なからざる歡びを感じられるであらう。何等の虚偽、技巧、欺瞞なき諸君の投稿を豊に本誌に盛ることが出来、此處に編輯を終へんとして心からなる嬉れしさを感じる。雜誌部諸先生方の御骨折を厚く感謝致します。遠いK市へ行かれた佐野先生にも——。

× 價値の如何は諸君の批判に任せるが、若々しく偽はらざる

點に於て此の小さなジャーナリズムは聖らかな尊嚴を保ち得る事を信じる。純真な感情の吐露程貴いものはない筈だ。因循、姑息、銜美に目隠しされた發表には迫り来る力はないだらう。諸君の新鮮な無垢な乾板を萬象の起伏波動に向つて感光せしめ永遠に本誌を健やかな歩みの中に培つて戴きたい。残念なのは投稿者が一部に限られてゐる事である。殊に下級生諸君の原稿が乏しい。諸君の會誌をよりよく向上させるためもつと振つて投稿される様に切望する。先生方の御寄稿の少なかつたのは遺憾に堪へません。來年度よりの御寄稿をお願い致します。一つには會員を導くため、一つには我々卒業生の永久のメモとして——。

× スイスの峯の様に伊吹にも西江州の山々にも銀色の雪が美はしく積つてゐる。あの朝な夕な紫色に輝く雪が消え初める頃我々は馴れ睦びし學び舎を後に集立つて行かねばならないのだ。

× あ——ほまれある一中に育まれた五ヶ年の生活。楽しい懐しい想ひ出で一杯だ。印象の絆が快い涙を強ひる——。五年の諸君よ！——一八〇〇日の間憂きと樂しみを共にした。

楽しかつた旅行……光榮の御親闕……のすべては過去となるだらう。——だが友よ、我々が不思議にも五ヶ年の生活を同じうすべく定められた九十三名の心と心との間に流れ合つた友愛だけは何時も現在に棲息せしめようではないか。永遠に變らぬ級友愛を誓ひたい!!

×
四年以下の諸君に——

諸君よ、彦中をして永遠の眠れる獅子たらしむる事勿れ。我等が承け継ぎ、また諸君に傳へた「赤鬼魂」を忘るる勿れ。

×
最後に——會誌が益々發達し諸君の生々しい感情が何時もみなぎりあふれて、もつと着實な歩みを以つて向上の徑を辿り、立派な會誌を作り大いに健兒の息を嘯かれん事を祈つて筆を擱く。本誌に不満の點もあらうが努力に免じてお許しあれ。——冗言妄句御海容を乞ふ。

×
さやうなら……想ひ出の銀杏よ、櫻よ!

最後の凝視を愛する母校の上にとどめて去り行かう。さらば!!……。

投稿の注意

- 投稿者は所定の原稿用紙を用ひられたい。
- 原稿には年級姓名を明記し、各種類に依り別紙に認め、雅號匿名は許さない。
- 點、丸、括弧等は一字に算入する。
- 他人の名譽を毀損し、論の政治的時事に涉るものは採用しない。
- 投稿締切期日は必ず厳守すること。
- 原稿の採否は凡て雜誌部々長及び理事の鑑識の範圍とする。
- 原稿の返戻は一切應じない。

明治二十七年五月三十日内務省認可
昭和五年二月廿八日印刷
昭和五年三月八日發行

【非賣品】

發行所	滋賀縣立 彦根中學校	校	友	會
代表者	滋賀縣立彦根中學校内 笠井			
印刷者	滋賀縣彦根五番町六十二番地 村下			
印刷所	滋賀縣彦根五番町六十二番地 村下	印	刷	所

